

家族、なごやかに。



つながり

人とつながりあって生きていく、それが人生



家族愛とは...

近年、子供への虐待や未成年者の犯罪が年々増加しています。その原因として、家族間のストレス、住居や経済的な問題、親子の孤立など様々ですが、一番大きな要因は、家族間でのコミュニケーションがとれていないことが大きいと思われる。共働きや単身赴任などの理由で、子供と向き合う時間が減ってしまい、子育てに専念できない家庭が増えているのです。

では、きちんと子供と向き合う時間をとればいいのかというと、そうではありません。子育てに正解はないですが、最近では「賢くなつてもらいたい」「健康になつてもらいたい」と遊ぶ暇もない位に様々な習い事をさせたり、過度に健康食品を食べさせる親がいます。もちろん、習い事や健康食品を食べることは悪いことではありません。しかし子供にとつて、遊びから学ぶこともあります。また肉・野菜・魚などバランスよく食べることが、健康に成長するためには必要です。ただ習い事をさせればよい、食べさせればよいというわけではありません。家族と一緒にすることが大切なのです。子供と一緒に遊んだり、学んだり、ご飯を食べることで、会話をしコミュニケーションを育むことで、親と子の絆が深まり、家族愛が芽生えるので

はないでしょうか。

家族愛は子供の成長に、深く関わってきます。どのように関わるのか、四つの例を紹介します。

一、家族と夕食を共にする子供は、非行に走りにくい

1週間に2回以上家族と夕食を共にする青少年は、麻薬やタバコに手を染めることがほとんど無いそうです。また、1週間に3回以上家族と夕食を共にする子供は、肥満及び乱れた食生活をする確率が低いとされています。そして、家族と食事を共にする中で、子供の言語能力は大きく発達するといわれています。

二、父親との関係が良好な子供は、成績が上がる

父親との関係が良好な子供は、授業及び課外活動などにおいて平均以上の点数を出しやすく、ストレスに打ち勝つ能力・自らを自制する能力・社会性に優れているとされています。一方、父親との関係が冷えきっていると、メンタルが弱く、学業成績も悪くなりがちになり、非行に走りやすく、子供が結婚した時の離婚率も高くなる傾向にあるそうです。

三、夫婦関係・親子関係が良好な場合、病気が早く回復する

夫婦関係・親子関係が良好な場合、病気からの回復速度が早くなるとされています。

四、母親の愛を充分に受けて育つた子供は、一生免疫力が高い

母親の愛を充分に受けて育つた子供は免疫力が高くなりやすく、その効果はなんと一生の間続くそうです。特に、母親と親密な関係を築いた子供は、炎症を誘発させるタンパク質の分泌が抑えられ、心血管障害うつ病喘息のリスクが低下するそうです。

もちろん、これらが絶対そうだというわけではありません。しかし、子供にとつて愛のある家庭で育つということは、人生を左右する大事なことだと思います。

